



## 平成30年度の主な取り組み



平田寺で行われた実行委員会の初代会

### <記念事業実行委員会が発足>

6月5日、意次侯にゆかりのある平田寺において、「田沼意次侯生誕300年記念事業実行委員会」の初会合が行われました。

#### 実行委員会顧問として 応援していただいています

- 平岩弓枝さん 小説家。意次侯の生涯を描いた「魚の棲む城」の著者
- 窪田充栄さん 東京都駒込にある田沼家の菩提寺 勝林寺の住職
- 田沼道雄さん 田沼家13代当主 ほか



「ぶらり田沼の旅」で解説を聞く参加者

### <「ぶらり田沼の旅」開催>

4月22日、5月3日、6月3日に、古絵図を見ながら意次侯ゆかりの地を巡るウォーキングイベント「ぶらり田沼の旅」が開催されました。市外からも多くの人に参加していただき、大変好評でした。



壁画の修復作業を行う相良高校の生徒

### <相良港防潮堤の壁画再生>

経年劣化で色あせた意次侯の壁画を、相良高校の美術部生徒と市民有志が協働で修復します。

### <没後230年法要式典>

7月24日の意次侯の命日には、市議会議員、区長らが出席して法要式典が営まれ、その遺徳を偲びました。



没後230年法要式典の様子

今後も、功績を顕彰する記念講演や、榛原高校美術部生徒と市民の協働による紙芝居の制作などを予定しています。2019年の生誕300年に向け、実行委員会を中心に記念事業を進めていきます。ご支援、ご協力をお願いします！

二〇一九年は

# 田沼意次侯生誕300年

問い合わせ 観光課 石川 ☎ (53) 2623



## 今こそ知ろう！ 田沼意次侯



2019年は、江戸幕府の老中を務め、遠州相良藩主として牧之原市を治めた郷土の偉人「田沼意次侯」の生誕300年を迎えます。これを契機に、意次侯の功績を再評価し、市の活性化につなげるため、市をあげて各種記念事業を展開していきます。

### <田沼意次侯プロフィール>



田沼意次侯肖像画(牧之原市史料館所蔵)

生誕	享保4年(1719年)
父	父は旗本の田沼意行(もとゆき/おきゆき)
母	母は紀州藩士の養女 辰
きょうだい	弟2人、妹1人
子ども	8男7女(長男:意知など)
官位	主殿頭、侍従
役職	側用人、老中
所領	遠州相良藩5万7千石
学芸	和歌、絵画、舞踊、茶の湯、将棋
人柄	博学多才、謙虚、礼儀正しい
死没	天明8年(1788年)7月24日
享年	70歳(数え年)

### <田沼意次侯の功績>

幕府財政の再建

- 殖産産業：鉱山開発、蝦夷地開拓、朝鮮人参・白砂糖の国産化
- 新しい税制度の導入：運上、冥加金(商人の営業税)
- 能力主義による人材の登用
- 貨幣の実質的な統一：明和五匁銀、南鐐二朱銀、四文銭の発行

牧之原市の基礎を確立

- 相良城の築城
  - ✦築城年：安永9年(1780年) \*明和5年(1768年)着工
  - ✦広さ：東西 500メートル×450メートル 約7万坪
  - ✦主な建物：本丸御殿、三重櫓、太鼓櫓(二の丸)、侍屋敷(三の丸)
    - ➔天明8年(1788年)、わずか8年で廃城
- 領内の整備
  - ✦城下町の建設：町割り(街路、区画整理)の実施
  - ✦町家の葺き替え：板または瓦屋根の採用(防火・景観対策)
  - ✦寺社の保護：大江八幡宮や平田寺など
- 殖産興業とインフラ整備
  - ✦養蚕、商品作物の栽培、製塩などの奨励
  - ✦湊橋の架橋(萩間川初の常設橋)、田沼街道の成立